

# 下北圏域キャリアサポートモデルプログラム

【教育目標】下北地域に根ざし、地域包括ケアシステムにおける継続看護ができる看護師を育成します

- 1) 在宅をイメージした看護ケアができる
- 2) 専門的知識があり、在宅療養を支えることができる
- 3) 地域住民の生活環境・状況を見聞きし生活する人々の生活を支えることができる

急性期（むつ総合病院）3年間

回復・維持・慢性期（大間病院）3年間又は2年間

地域包括ケアに関する研修・老健・特養・訪問看護事業所  
市役所保健師業務の見学（2～6年間の期間で）

ねらい

基本的な看護技術全般を習得する。  
後輩指導を経験し、看護の幅を広げる  
在宅をイメージしたケアを実践する  
他施設との調整の実際を習得する

北通り地域の医療現状を理解する。  
急性期→慢性期→施設・在宅の流れの実際を理解する。  
多職種連携における調整力を養う  
社会資源の活用方法の実際を理解する  
意思決定を支える力を養う

他の病院・施設・訪問看護の現状を理解し看護ケアや調整に活かす  
下北の地域包括ケアについて理解する

到達目標

1. 3年後に基本的看護技術を習得したうえで、新人指導ができる。  
2. 在宅をイメージした看護展開、他部門との調整が実施できる

1. 患者との関り、病棟・外来などから課題を見出し、自身の立場で解決に向け、計画に沿った看護実践ができる。  
2. その人の暮らす生活の質に視点を持ち、在宅に向けた指導・ケア、在宅療養を支援することができる。

1. 他の病院・施設・訪問看護の現状を理解し、自施設での自分自身が考える課題を見出し、今後のケアに活かすことができる。  
2. 自身の希望する専門分野で質の高いケアを提供することができる。

## 具体的な研修プログラム

<p><b>方法</b></p>	<p>3年間を通じて、PNS看護の中でプリセプター制度のもと、むつ総合病院の教育ラダーに則った新人教育研修を行う eラーニングを活用した自己研修、院外研修への参加支援 <b>(1年目)</b> ・基本的看護技術の集合研修（毎木の午後勤務時間内） ・緩和、化学療法、認知症、褥瘡などに関して認定看護師を講師として、基本的研修を受講 ・臨床工学士、理学療法士、歯科衛生士、薬剤師を講師として、各専門領域の研修 ・所属以外の病棟での勤務体験 ・1年間の看護の振り返りをレポートにまとめ、発表する <b>(2年目)</b> ・ケーススタディに取組み、患者の看護を考察・発表する ・救急外来、手術室、内視鏡室、放射線科等中央部門研修 ・地域行事への参加（小学生への職業体験等） <b>(3年目)</b> ・プリセプターとなりチームで新人を指導する ・リーダーシップ研修 ・訪問看護研修 ・地域連携部研修 ・集中治療部研修</p>	<p>(3か月間外来) ・外来業務の習得(処置室・検査の介助・採血・点滴) ・救急患者の受け入れ準備と対応 ・転院搬送時の手順や書類などの準備（ドクターヘリも含む） ・患者搬送車の同乗（むつ総合病院・青森県立中央病院・八戸市立市民病院） (6か月～病棟勤務) ・在宅療養患者の終末期ケアの実践（お看取りを含む） ・夜勤（外来対応；大間在職6か月後ぐらいから導入） <b>(1年目)</b> ・日常業務を通して、自分自身の課題の抽出を行う。 ・課題解決のための計画をたて、実践する。 ・多職種カンファレンスへの参加や退院支援を実践する。 ・リハビリカンファレンス（毎週）への参加 ・退院前、退院後訪問を実践する。 <b>(2年目)</b> ・透析患者へ個別性のある生活指導を行う（透析室の見学2～3日） ・地域連携バス（大腿骨頸部骨折・脳卒中）に該当する患者への関り 地域連携バスの一連の流れ（急性期・回復期・維持期）とそれぞれに係る職種や利用サービスなどの理解 ・在宅療養において必要な介護・福祉サービスや訪問診療・看護などの医療の介入を理解し、患者と家族への生活指導を実践する。</p>	<p>むつ総合病院勤務中 ・むつ市内の介護施設・訪問看護事業所などの見学、訪問看護同行研修などの地域研修を行う ・むつ市包括ケア会議への参加（SWへの同行） ・自身の希望する専門分野の知識・技術を更に深める ・希望があれば専攻課程へ挑戦する。  大間病院勤務中 ・大間町・佐井村など北通りの介護施設の見学 ・大間病院が実施している訪問診療・訪問看護の同行 ・包括支援センターくろまつ（2日/月×12か月） ・北通り地区包括ケア会議への参加 ・学校健診・就学時健診など（外来看護業務の中で） ・訪問診療（大間病院医師による）へ同行 週3回 ・在宅療養患者の終末期ケアの実践（お看取りを含む） ・へき地（佐井・福浦・牛滝診療所）診療へ同行 週1回  ・くろまつデイケア・特養（1週間） ・グループホームでの認知症高齢者ケア研修</p>
<p><b>評価</b></p>	<p>・新人チェックリストによるチェックとプリセプターによる評価 ・ラダー表に沿った評価 ・主任・師長の人事評価 ・教育委員長・看護局次長・局長評価を経て次の病院への異動を決定する</p>	<p>・師長・総師長による評価 ・大間病院看護部ラダー評価</p>	<p>・研修後のレポート提出 ・内容をそれぞれの勤務先で、指導担当者による評価</p>
<p><b>備考</b></p>	<p>むつ総合病院・大間病院両病院での研修会開催 認定看護師講師の研修会・橋渡し研修会（SW、PSW） 看護研究発表会などへのオンライン参加</p>		<p>6～7年目～希望する専攻課程へ 例) ①在宅療養分野 ②専門看護師 ③認定看護師（特定看護師）</p>